

# 歴史街道計画推進に向けて

平成18年7月

**歴史街道推進協議会**

「歴史街道計画」はわが国の代表的な歴史的地域にかかわる官民が広域的に連携することによって、「美しい日本」を創造するとともに、日本の歴史文化を内外に発信し、「観光立国」実現の大きな一翼を担おうとするプロジェクトです。

### 歴史街道メインルートと3つのネットワーク



活動はすでに15周年を迎えました。

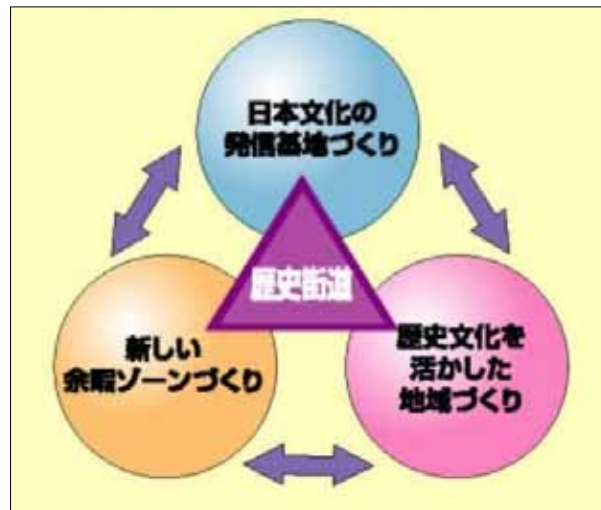
本年には新たに「歴史街道第五期計画」を策定し、歴史街道推進協議会と参画する経済界や地方公共団体など151の組織と約4000名の市民が心を1つに役割を分担し、さらなる発展を期しております。

この「歴史街道計画」は単に、関西の地域・観光振興のためだけのものではありません。事業の多くを地方の自発的努力をもって実現していくことはもちろんですが、国におけるさらなる理解・参画と支援体制の強化についても、心からお願い申し上げる次第です。

平成18年7月

歴史街道推進協議会  
会長 秋山 喜久  
理事長 山口 昌紀

# 歴史街道計画の3つの目標



# 歴史街道 2 1 景



## 『「歴史街道」づくりの提言』 (1988年3月「世界を考える京都座会」より発表)

外国人に「日本について何を知っていますか」と尋ねると、まず返ってくるのは商品と企業の名前です。経済大国の日本としてそれは当然でしょうが、それ以外のことがほとんど知られていないのは寂しいことです。文化や歴史、功績ある人々の名前などがほとんど知られていないのです。

「人間の顔のない経済大国」「商品を吐き出すブラックボックス」。日本に対するこうした評価は正しいものではありませんが、私たち日本人もこれまでは、自国の文化や伝統、こころや生活感覚を世界に知らせようという意識が薄かったことも事実でしょう。いや今も、日本の文化やこころを知らせるのは、貿易摩擦のため、よりよい経済関係を深めるため、つまり経済が目的で文化やこころの問題はそのための手段という気持ちがあるのではないのでしょうか。

さらにいえば、私たち日本人自身も、物質的な豊かさ、物理的環境の快適さや便利さを追い求めるのに忙しく、その根底にある日本の文化や伝統や特有の発想について考える余裕を失っているくらいがあるのではないのでしょうか。

今や日本は、世界の16%もの生産力を持ち、世界の総輸出の5%にも当たる貿易黒字を計上し、世界中の貯蓄の半分以上を占める巨大な経済力をもつようになってきました。日本の経済は、私たちの実感をはるかに超えて、国際化し巨大化しているのです。このままでは日本は「金儲けにしか関心のない国」という評価が定着してしまう恐れがあります。

このような現実を超え、日本人自身も外国の人々にも、長い歴史に培われた日本の文化とこころを深く認識するような実効ある具体的な計画を考える必要があると考えます。

そこで、私たちが着目したのは、日本の文化、日本人のこころが形成された過程を、その現場において見聞することです。

独特の風土を持ったこの国土で生まれた日本文化には、特有の性格があります。同時に世界にも類例のないこの国土の文明的位置の故に、東洋と西洋の文明を巧みに吸収し消化することもできました。現代の日本の文化と日本人のこころは、そうした歴史の成果として築かれたものです。従ってこれを正しく認識し深く理解するためには、歴史現場においてそれぞれの時代の文物と環境を味わうことが大切でしょう。

文化を知りこころを解するためには、書かれた文章を覚え、並べられた事物を知るだけでは充分ではありません。体験の記憶と自ら試みた実感をもって親しみひたるのでなければ、本当の文化を知ることにはならないのではないかと思います。

このような考えから、私たちは日本の文化と歴史を体験し実感する旅筋、いわば「歴史を楽しむルート」としての「歴史街道」の開発整備を提唱するものです。

幸いにして日本では、主要な歴史の現場を、ほぼ歴史年代の順に訪ねる旅をすることが出来ます。それは、さほど遠い距離でもなくあまり長い時間をかけることもない範囲にあります。つまり、「勤勉に楽しむ」日本人の性格にも、短い日数で日本を訪れる外国人にも、無理なく巡れるルートとなり得るのです。

この「歴史街道」構想は、日本人のこころに伝えられてきた「生なり」の文化の源流というべき神話の地・伊勢からはじまり、古代から中世にかけての三つの都 飛鳥、奈良、京都 とその近郊を巡り、秀吉以降の商人文化の中心地「大阪」、明治以降の国際交流を象徴する神戸を結ぶこととなります。

勿論、日本文化の最も古い歴史をもつこの地域には、多くの歴史文物があり、伝統的な行事や芸術技能が保たれております。また、隠された文物や知られざるこころの跡も多いことでしょう。さらにこれから追加すべき「もてなし」のハードやソフトの開発も重要になるでしょう。新しい技術や思想を吸収し活用してきた日本の歴史そのままに、高度な技術や斬新な発想を導入しなければならないことも多いに違いありません。快適な移動方法や多彩な楽しみの導入も大切です。「歴史街道」は、常に開発され更新される知的な観光ルートでなければならないと思うからです。

文化は突如として興るものではありません。伝統を大切にしない文化が長く栄えた験しはなく、新しい技術と発想の導入なしに長く保たれた伝統もまたありません。豊かな国になった日本は、その歴史とこころに根づいた文化を、歴史の現場から世界に発信する必要があります。私たちは、この「歴史街道」を現代に生かすことが、二千年の日本の歴史に新しい楽しみを加えると共に、百年後、千年後に現代の英知と繁栄を伝える試みでもあることを願うものです。

今、日本では新しい街づくり、新しい国際交流の場の建設が進められていますが、同時に先人から受け継いだ歴史の現場を、新たな知的興奮の舞台にすることも大切ではないのでしょうか。

1988年3月

世界を考える京都座会

松下幸之助 天谷直弘 飯尾経夫 石井威望  
牛尾治朗 加藤寛 高坂正堯 堺屋太一  
斎藤精一郎 広中平祐 山本七平 渡部昇一

# 歴史街道計画の現状と第五期計画（2006～2008年度）

## 1. 美しい関西づくり

### <現状>

歴史街道モデル事業は、50地区の歴史的地域で整備推進中

### <第五期における事業方向性>

- ・当初の計画をほぼ完成させつつある24地区に対する重点支援
- ・推奨道路や古道・街道を活用した「点から線への事業拡大」  
「シーニックバイウェイジャパン」(日本風景街道)計画への対応  
伊勢～飛鳥間、飛鳥～奈良～京都間、琵琶湖のさざなみ街道と中山道
- ・世界遺産地区、国立・国定・国営公園地区、重要伝統的建造物群保存地区などとの管轄官庁の枠を越えた連携

## 2. 「歴史街道」(メインルート)をDESTINATIONに

「日本史のタイム・トリップ」をコンセプトに、伊勢から飛鳥・奈良・京都・大阪をへて神戸まで双六のように、日本の歴史をたどれる場所を21箇所指定。

### <現状>

- ・歴史街道モデル事業地区：11地区
- ・歴史街道iセンター：21箇所
- ・スタンプポイント：48箇所
- ・ウェルカム表示掲出駅：70駅
- ・定点案内実施の「語り部」組織：17団体
- ・町家店舗のネットワーク：47店舗（伊勢・河崎、おはらい町 今井町 奈良町 宇治 伏見 京都市内 枚方 空堀 伊丹 神戸・北野）
- ・阪神間における「博物館・美術館リレー講座」：19館
- ・テストツアーの実施：9地区（1月 伊勢～12月 神戸）

### <第五期における事業方向性>

- ・資源の発掘・再整理、関係事業の集大成
- ・テストツアーを商品化、全コースを通して最高の歴史的体験ができるような高額商品の造成検討
- ・宿泊施設のネットワーク形成

## 3. 3つのネットワークにおける事業充実

- ・紀伊半島のネットワーク
- ・古代史のネットワーク（南大阪～飛鳥+丹後・但馬）
- ・戦国～江戸時代のネットワーク（姫路～滋賀～福井）

#### <現状>

- ・紀伊半島：関西圏外での広報活動、3県にまたがる基礎資料の作成、地域づくりリーダーのネットワーク形成。歴史街道モデル事業地区（10地区）。テストツアーの実施（高野山、吉野、中辺路と熊野三山、東紀州）。
- ・古代史：ウォークイベント、テストツアー（南大阪 飛鳥、丹後・但馬） 連携会議、パンフレットづくり
- ・戦国～江戸時代：映画「ザ・ラストサムライ」「SAYURI」の公開にあわせた米国へのPR。SAMURAIパンフレットの送付（海外4000箇所）、テストツアーの実施（姫路・滋賀・福井）

#### <第五期における事業方向性>

- ・「紀伊半島」における今後の発展方策づくり
- ・「古代史」における堺・飛鳥などの世界遺産登録の推進。
- ・「戦国～江戸時代」における、JR新快速にそった地域（赤穂～姫路～彦根～敦賀）の連携促進。滋賀県・福井県に対する「歴史街道づくり」の提案。

### 4．全国への情報発信

#### <現状>

- ・朝日放送「歴史街道～ロマンへの扉～」(2005年12月で放送3000回)
- ・鉄道会社をはじめとする各団体と連携した広報活動
- ・第四期中の新聞報道：全国で98回、関西で139回
- ・首都圏における展示PR等
- ・出版事業（月刊「歴史街道」等）
- ・歴史街道倶楽部、歴史街道物産倶楽部
- ・海外フォーラムの開催（約50回）
- ・世界の同種ルートとの交流：ドイツ・カナダ・ベトナム・ウズベキスタン

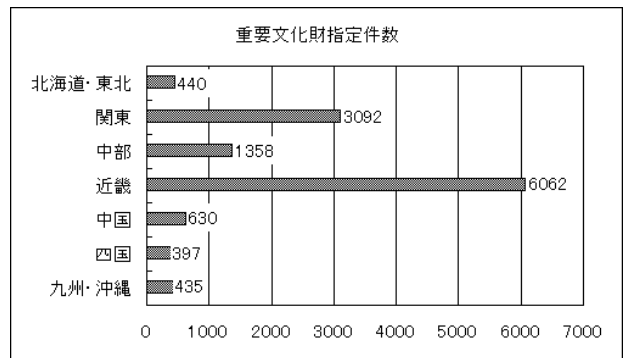
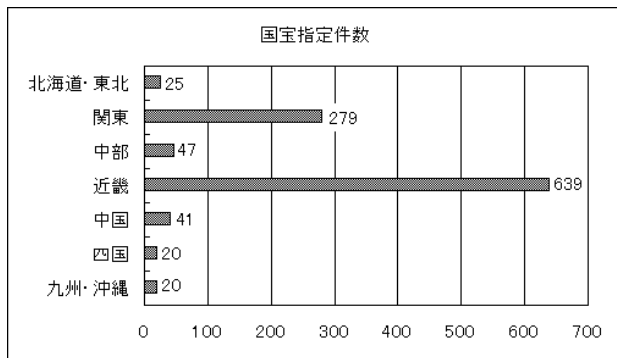
#### <第五期における事業方向性>

- ・「ツアー」や「記念年」（平城遷都1300年、伊勢・式年遷宮など）のPR
- ・各地域ゆかりの歴史的人物を活用したPR
- ・鉄道会社との連携によるPR
- ・航空会社と連携した地方都市での発信
- ・首都圏におけるキーパーソンのネットワーク形成

# 1 国をあげての文化・観光振興

## (1) 平城宮跡第一次大極殿院復原等、関西における文化財関連予算の拡充(文化庁)

### 《国宝・重要文化財指定件数》



### 《関西の世界文化遺産》



姫路城



法隆寺地域の仏教建造物



古都京都の文化財



古都奈良の文化財



紀伊山地の霊場と参詣道



## (2) 観光事業の拡充(国土交通省)

平成19年度予算における「ビジット・ジャパン・キャンペーン事業」「観光ルネサンス事業」「観光地域づくり実践プラン」「まちめぐりナビプロジェクト事業」など観光関連予算の大幅増額と、「歴史街道計画」への重点配分につきご提案申し上げます。

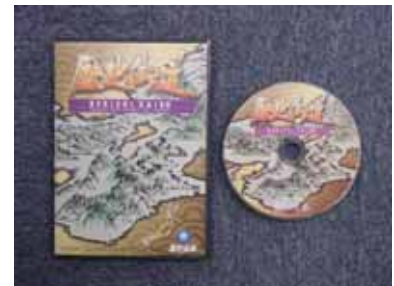
### 《歴史街道における海外関連事業》



世界50都市での海外フォーラム



10か国語ホームページ



4か国語DVD



多言語による音声案内



北京でのラジオ放送



プレスツアー



外国語ガイドブック



歴史街道iセンター



海外メディアの取材協力



## 2 美しい日本を創るために

### (1) 景観形成事業推進費の重点配分(国土交通省)

平成19年度予算における「景観形成事業推進費」の増額と、世界遺産指定地区、国立・国定公園、伝統的建造物群保存地区、大都市等、観光的資質が高い地域への重点配分をご提案申し上げます。

### (2) 「歴史街道モデル事業」への支援拡充(国土交通省)

関西の歴史的地域が10年来、自発的に取り組んでいる「歴史街道モデル事業」への支援拡充をご提案申し上げます。



近江八幡市 八幡堀



宇治市 源氏物語ミュージアム



豊岡市 登城橋河川公園

# 歴史街道モデル事業 主な整備事業

府県名	地区名	主な整備事業
福井県	今庄町(現 南越前町)	国道 365 号道路整備、今庄宿景観整備、木ノ芽城塞群周辺環境整備、湯尾峠周辺整備 等
	南条町(現 南越前町)	日野川河川整備、妙泰寺周辺整備、国道 365 号整備、県道杣山城址線整備 等
	金津町(現 あわら市)	県道トリムパークかなづ線整備、サイクリングロード整備、駅前総合案内板整備 等
	永平寺町	一般国道 158 号(中部縦貫自動車道)整備、道の駅整備、九頭竜川河川環境整備 等
滋賀県	彦根市	夢京橋キャッスルロード整備、彦根シティゲート整備、佐和山ハイキングコース整備 等
	大津市	西大津バイパス歩道整備、湖西道路サイン等整備、歴史のみちづくり整備 等
	近江八幡市	八幡掘遊歩道整備、市道白雲宮内線道路整備、街なみ整備、長命寺川中改修事業 等
	土山町(現 甲賀市)	旧東海道街並み整備事業、歴史的文化伝承整備、峠の茶屋整備事業、斎王群行道路整備 等
京都府	宇治市	案内サイン整備、宇治橋架替事業、宇治川護岸整備、源氏物語ミュージアム建設事業 等
	京都市・東山区	五条通の景観整備と駐車対策、八坂通舗装道補修、鴨川「花の回廊」整備 等
	木津町	上人ヶ平遺跡公園整備、緑の一里塚整備、親水公園整備、山背古道整備 等
	乙訓・八幡地区	第二京阪道路「緑立つ道」整備、京都南道路整備、京都第二外環状道路整備 等
	亀岡市	宇津根新国道線整備、国道 372 号道路整備、保津峡交流ふれあい橋梁事業 等
	園部町(現 南丹市)	シンボルロード整備事業、園部公園整備事業、天神川河川防災施設事業 等
	丹波後地区	鳥取豊岡宮津自動車道宮津線緑線整備、桜づつみモデル事業、加悦町タウンセンターの整備 等
	北丹後地区	日本海岸保全事業、古墳公園整備、碓高原公園整備、八丁浜シーサイドパーク事業 等
	丹波町(現 京丹波町)	須知公園の整備、須知城跡整備、ポケットパーク、橋詰広場等整備、まちなみ案内板の設置 等
	八木町(現 南丹市)	国道 477 号道路新設改良事業、農村公園(散策道)整備、木喰の里整備、遊歩道(石畳の道)整備
	大阪府	羽曳野市
枚方市		淀川河川公園枚方地区整備事業、スーパー堤防事業、京街道整備、枚方宿資料館建設整備 等
高槻市		ポケットパーク整備、歩行者・自転車道整備、うるおいのある街角整備、船着き場整備 等
阪南市		玉田山公園(古墳群)整備事業、第二阪和国道周辺整備(延伸)事業、iセンター整備事業 等
兵庫県	姫路市	ノコギリ横丁・歴史のみちすじ整備、船場川河川環境整備(姫路城浄化)、姫路公園整備(櫻門橋の木橋整備) 等
	出石町(現 豊岡市)	沢庵・ひばこ街道整備、一宮街道整備、谷山川河川環境整備、出石川桜づつみ環境整備 等
	加西市	北条地区街なみ環境整備、小谷城跡公園整備、文化公園整備、播磨中央自転車道整備 等
	龍野市(現 たつの市)	童謡公園整備、姫路上郡線祇園橋架替事業、揖保川水辺プラザ河川敷整備 等
	宝塚市	花の道整備、宝塚大橋整備、武庫川河川敷等親水整備、文化交流施設整備、夜間景観整備 等
	篠山市	国道 372 号整備、篠山西紀線整備、八上野間線 戦国歴史街道 橋梁整備、河原町街なみ環境整備事業 等
	洲本市	寺町街なみ整備、旧町名標示柱整備、成ヶ島公園整備、海辺の遊歩道整備、ウォーキングトレイル整備 等
	柏原町(現 丹波市)	J R 柏原駅周辺整備、歴史遊歩道の整備、史跡(柏原藩陣屋跡)内及び史跡周辺の環境整備 等
	生野町(現 朝来市)	総合案内所の整備、銀山まち回廊の整備、銀山参道の整備、トロッコ路の散策道整備 等
	御津町(現 たつの市)	国道 250 号歩道整備事業、室津漁業集落環境整備事業、室山城跡の整備事業 等
	中 町	東山古墳群整備事業、エコミュージアムビジターセンター構想、ふるさとの玄関整備事業 等
	三木市	案内板設置事業、湯の山街道景観整備、三木城址公園整備、旧玉置家住宅活用事業 等
	和田山町(現 朝来市)	竹田城跡周辺整備、電線類地中化、立雲峡周辺整備、道の駅歴史街道 i センター整備 等
	猪名川町	銀山資料館整備、歴史親水公園整備、道の駅歴史街道 i センター設置、案内看板設置 等
奈良県	明日香村	飛鳥駅前整備、飛鳥川環境整備、飛鳥周辺自然歩道整備、国道 169 号及び 24 号誘導サイン整備 等
	斑鳩町	法隆寺いざない大路整備、藤ノ木古墳史跡整備、大和川・富雄川親水護岸整備 等
	室生村(現 宇陀市)	室生川環境整備、県道吉野室生寺針線整備、大野寺磨崖仏周辺公園整備 等
	吉野町	桜井吉野線道路改築事業、芭蕉口マンの道整備、万葉の道整備、吉野山町並み整備 等
	大宇陀町(現 宇陀市)	宇陀松山街道(国道 370 号線)歴史的街なみ整備、宇陀川河川環境整備 等
	西郷街道周辺地区	大塔村郷土館整備事業、観音峯南朝文化ゾーン整備事業、天川村入村口整備事業 等
和歌山県	橋本市	旧大和街道(四つ辻～一里松)整備、紀伊見峠整備、一里塚整備、紀の川緑地公園整備 等
	紀の川・大和街道周辺地区	道の駅「紀の川万葉の里」整備、慈尊院門前町整備、紀伊国分寺跡周辺整備、京奈和自動車道整備 等
	新宮市	駅前広場修景整備、徐福公園整備、飛鳥の渡し跡整備、水辺プラザ整備、丹鶴公園整備 等
	口熊野地区	田辺駅周辺整備、コミュニティー道路整備、南方熊楠邸保存・復元整備、扇ヶ浜総合整備 等
	海南市	熊野古道舗装修景整備、黒江地区内舗装修景整備、旧鈴木邸修景整備、熊野街道道標説明板整備 等
	高野町	道標・誘導サインの設置、歩道の整備(石畳化)、外国語案内板の設置、電線類の地中化 等
	那智勝浦町	大門坂入口町道景観整備・サイン整備、那智駅道の駅整備事業、ゆかし湯歩道設置事業 等
	本宮町(現 田辺市)	国道 168 号拡幅整備、熊野古道整備、案内板設置事業、街なみ形成修景事業 等

### ( 3 ) 歴史街道を「点」から「線」へ - 古道・街道と歴史的河川の保全整備 - ( 文化庁・環境省・国土交通省 )

日本風景街道事業の推進

- ・伊勢～飛鳥（国道23号、国道165号、伊勢本街道、初瀬街道）
- ・飛鳥～奈良～京都（国道169号、国道24号、山の辺の道）
- ・大津～長浜（湖岸道路、中山道）
- ・田辺～熊野三山（国道311号、熊野古道）

京奈和自動車道の早期実現

歴史的河川と旧街道の保全整備

- ・淀川
- ・西国街道、京街道
- ・紀伊山地の参詣道
- ・竹内街道
- ・東海道（大津～関）
- ・北国街道（長浜～福井）



伊勢本街道



山の辺の道



淀川



竹内街道

## (4) 地域の広域連携への支援策拡充 (国土交通省)

文化・観光振興、地域づくり等における地域の広域連携支援施策の拡充をご提案申し上げます。

### 《歴史街道における広域連携事業》



紀伊半島交流会議  
(和歌山県・三重県・奈良県)



阪神間美術館博物館リ-講座  
(兵庫県・大阪府)



六都再見ツアー  
(奈良県・京都府)



古代史連携事業  
(大阪府・奈良県)



北近畿連携交流会議  
(京都府・兵庫県)



土山～関 東海道ウォーク  
(滋賀県・三重県)

## (5) 新・国土形成計画への位置付け (国土交通省)

今後策定される国土形成計画における「歴史街道計画」の明確な位置づけをお願いいたします。

# 歴史街道計画の推進経緯

1986年	4月	「世界を考える京都座会(天谷直弘、飯田経夫、石井威望、牛尾治朗、加藤寛、高坂正堯、齋藤精一郎、堺屋太一、広中平祐、山本七平、渡辺昇一)」における討議開始
1988年	3月	「世界を考える京都座会」より「歴史街道づくりの提言」発表
	11月	「『歴史街道』構想推進呼びかけ人会(文化人、経済人:29名)」発足
1991年	3月	「テレビ生紀行 - エッセーロマン・歴史街道」放送開始(NHK)
	4月	「歴史街道推進協議会(官36団体、民26団体)」発足
1992年	2月	「歴史街道マスタープラン」発表
1993年	3月	「歴史街道マスタースケジュール」発表
	〃	「『ならのみち』歴史街道構想推進検討委員会報告書」策定(建設省)
	〃	「歴史街道計画を活かした情報システムの活用に関する研究」策定(通商産業省)
	〃	「緑と文化のふれあいサイン(歴史街道関連)基本計画等」策定(京都府)
	4月	「歴史街道モデル事業 - 宇治地区」開始
	10月	「歴史街道100選」発表
	〃	「歴史街道モデル事業 - 飛鳥地区」開始
1994年	1月	「近江歴史回廊構想」策定(滋賀県)
	3月	「歴史街道構想を活かした奈良県づくり」策定(奈良県)
	〃	「紀の国歴史文化街道構想」策定(和歌山県)
	〃	「『歴史街道』情報化計画の推進について」提言発表(通商産業省)
	7月	「歴史街道倶楽部(個人会員制度)」会員募集開始
	〃	「歴史街道共同事業」開始(スタンプラリー・四季のキャンペーンほか)
1995年	3月	「歴史文化資源を活かした地域活性化のあり方に関する調査」実施(国土庁・通商産業省・建設省)
	〃	「なにわ歴史街道事業」策定(大阪府)
	〃	「越前若狭歴史街道構想」策定(福井県)
	〃	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定(斑鳩町、京都市、彦根市、羽曳野市、姫路市、出石町、橋本市)
	4月	「歴史街道～ロマンへの扉～」放送開始(朝日放送)
	6月	CD-ROM「歴史街道の旅」作成
	9月	プレスカンファランス実施(対象:外国人特派員ほか)
	〃	「歴史街道海外フォーラム」実施(7都市)
	11月	APEC参加関係者への資料提供(CD-ROM・四カ国語パンフレット)
1996年	3月	「みえ歴史街道構想『むすびのくにづくり』」策定(三重県)
	〃	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定(室生村、木津町、乙訓・八幡地区、枚方市、今庄町、大津市、加西市、紀の川大和街道周辺地区)
	5月	「歴史街海外フォーラム」実施(2都市)

1996年	6月	「歴史街道第二期計画～『分権』の波、関西から～」策定
	9月	「歴史街道iセンター」ネットワーク化開始（13カ所）
	9月～10月	「海外フォーラム」実施（6都市）
	11月	ビデオCD「歴史街道～ロマンへの扉～」作成
1997年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（南条町、近江八幡市、高槻市、宝塚市、龍野市、吉野町、新宮市）
	9月～11月	「海外フォーラム」実施（7都市）
1998年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（金津町、土山町、亀岡市、篠山市、洲本市、大宇陀町、口熊野地区）
	〃	「新しい全国総合開発計画”21世紀の国土のグランドデザイン-地域の自立の促進と美しい国土の創造-”に近畿地域の施策の一つとして「歴史街道」計画の位置づけ（国土庁）
	〃	「兵庫歴史文化回廊構想」策定（兵庫県）
	9月～10月	「海外フォーラム」実施（7都市）
1999年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（永平寺町、園部町、口丹後地区、海南市）
	10月～11月	「海外フォーラム」実施（6都市）
2000年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（北丹後地区、柏原町、生野町）
	6月	「歴史街道第三期計画」策定
	11月	「海外フォーラム」実施（2都市）
	12月	「インターネット博覧会」出展
2001年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（阪南市、高野町、御津町、西熊野街道周辺地区）
	〃	「歴史街道推進協議会 発足10周年記念フォーラム」実施
	7月	「歴史街道推進協議会 北京事務所」開設
2002年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（中町、丹波町、那智勝浦町）
	10月	歴史街道モデル事業シンポジウム「市町村サミット～文化遺産を結ぶ歴史街道の新たなる発信～」開催
2003年	3月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（八木町、三木市、和田山町、本宮町）
	6月	「歴史街道第四期計画」策定
	11月	歴史街道モデル事業シンポジウム「世界遺産を活かした地域づくり」開催
2004年	2月	「歴史街道モデル事業整備プラン」策定（猪名川町）
	3月	「紀伊半島交流会議発足会」開催
	9月	歴史街道モデル事業シンポジウム「ウェイクアップ関西シンポジウム『歴史街道をどう活かすか』」開催
2005年	2月	「大阪府奈良県歴史文化資源の活用による広域連携方策検討会議」開催
2006年	2月	「北近畿連携交流会議」開催
	6月	「歴史街道第五期計画」策定

## 歴史街道推進協議会役員、顧問、参与名簿

(平成18年7月 日現在)

会 長	秋 山 喜 久	( 関西経済連合会会長 )
理 事 長	山 口 昌 紀	( 近畿日本鉄道社長 )
相 談 役	川 上 哲 郎	( 住友電気工業相談役 )
"	小 林 公 平	( 阪急電鉄名誉顧問 )
常任理事	西 川 一 誠	( 福井県知事 )
"	野 呂 昭 彦	( 三重県知事 )
"	國 松 善 次	( 滋賀県知事 )
"	山 田 啓 二	( 京都府知事 )
"	太 田 房 江	( 大阪府知事 )
"	井 戸 敏 三	( 兵庫県知事 )
"	柿 本 善 也	( 奈良県知事 )
"	木 村 良 樹	( 和歌山県知事 )
"	關 淳 一	( 大阪市長 )
"	矢 田 立 郎	( 神戸市長 )
"	榎 本 頼 兼	( 京都市長 )
"	藤 原 昭	( 奈良市長 )
"	森 下 隆 生	( 伊勢市長 )
"	野 村 明 雄	( 大阪商工会議所会頭・大阪府商工会議所連合会会長 )
"	水 越 浩 士	( 神戸商工会議所会頭・兵庫県商工会議所連合会会頭 )
"	村 田 純 一	( 京都商工会議所会頭・京都府商工会議所連合会会長 )
"	西 口 廣 宗	( 奈良商工会議所会頭・奈良県商工会議所連合会会長 )
"	浜 田 益 嗣	( 伊勢商工会議所会頭 )
理 事	芝 野 博 文	( 大阪ガス社長 )
"	小 林 庄 一 郎	( 関西電力顧問 )
"	太 田 孝	( 近畿日本ツーリスト社長 )
"	佐 藤 茂 雄	( 京阪電気鉄道相談役 )
"	吉 野 泰 生	( 住友生命保険会長 )
"	荒 谷 俊 昭	( 東海旅客鉄道副社長 )
"	鈴 木 孝 三	( J T B 西日本社長 )
"	山 崎 正 夫	( 西日本旅客鉄道社長 )
"	金 井 耿	( 日本旅行社長 )
"	江 口 克 彦	( P H P 研究所社長 )
"	松 下 正 治	( 松下電器産業名誉会長 )
"	熊 谷 信 昭	( 大阪 2 1 世紀協会会長 )
"	堺 屋 太 一	( 作家 )

理 事	阪 上 善 秀	(宝塚市長)
"	久保田 勇	(宇治市長)
"	長谷川 明	(桜井市長)
"	小 城 利 重	(斑鳩町長)
"	関 義 清	(明日香村長)
監 事	草 野 征 夫	(大阪銀行協会専務理事)
"	稲 井 幸 晴	(監査法人浩陽会計社公認会計士)
顧 問	石 井 威 望	(東京大学名誉教授)
"	牛 尾 治 朗	(ウシオ電機会長)
"	加 藤 寛	(千葉商科大学学長)
"	斎 藤 精一郎	(立教大学教授)
"	広 中 平 祐	(京都大学名誉教授)
"	渡 部 昇 一	(上智大学名誉教授)
参 与	稗 田 昭 人	(総務省自治行政局地域振興課長)
"	天 江 喜七郎	(外務省特命全権大使・関西担当)
"	森 本 学	(財務省近畿財務局長)
"	岩 本 健 吾	(文化庁文化財部記念物課課長)
"	進 藤 眞 理	(農林水産省近畿農政局長)
"	佐 藤 樹一郎	(経済産業省中部経済産業局長)
"	福 水 健 文	(経済産業省近畿経済産業局長)
"	大 村 哲 夫	(国土交通省中部地方整備局長)
"	藤 本 貴 也	(国土交通省近畿地方整備局長)
"	谷 山 将	(国土交通省中部運輸局長)
"	谷 口 克 己	(国土交通省近畿運輸局長)
"	阿 部 宗 広	(環境省自然環境局自然環境計画課長)
"	伊 藤 聖	(日本郵政公社近畿支社長)



